

# 高知県の教育・学校についての 若者の「声」

高知県内の高等学校・特別支援学校高等部に在学している生徒や、高知県内に在住している16歳から18歳までの若者の皆さんから、令和5年5月1日（月）～6月30日（金）にかけて、教育や学校についての「声」を募集しました。

合計

**301件**の

「声」を頂戴しました。  
ありがとうございました！！

※「特定の個人や団体に対する誹謗中傷」「内容が不明瞭なもの」については「声」として数に含めておりません。



# いただいた「声」の一部ご紹介

## 1 校則に関すること

- 1つひとつの校則はなんのためにあるのか、ディスカッションできる場が必要。よくある例でいうと、靴下の色は勉強することに影響を与えるのか、なぜ髪の毛は染めてはいけないのか、でもそれにはある一定の理由がある（一方で根拠が薄く意味のないものもある）よって、高知県の生徒の個性が失われないような形にするために、学校ごとはもちろん、高知県全体でも生徒たちの校則について考えていく必要があると思う。
- なぜ各学校によって校則が違うのか疑問におもっている。この学校ではいいけど、あの学校では禁止などと分けられていたら平等ではなくなり校則を変えてほしいと要望などが出てくるのではないかと思った。
- 私は校則が厳しすぎると思います。社会に出る上でマナーが悪いのはダメだというのは分かるが、高校生らしい服装や容姿で居なければならないというのが理由の校則はあいまいだと感じます。一人一人高校生らしい格好、容姿は違うと思うので、清潔にするとか、周りに迷惑を掛けないとか、マナーを守っての校則違反という状況がないように検討して欲しいです。
- 校則で禁止されているものについての細かな説明がほしい。なぜ禁止されているのか論理的な説明をしてほしい。
- 自分達の周りも新しいものによって変わっていているから、校則も古いものにこだわっている場合ではない。どんどん新しくしてくれるとありがたいです。
- 制服とかちゃんとした校則があるのはとてもいいと思う。でも他の学校にある前髪が目にかかってはいけないなどそういう校則はいらないと思う。
- 化粧について、先生方は化粧しているにも関わらず「化粧をするな、落とせ」と言う。そして、先生方がする化粧は「身だしなみを整えるためにちょっとだけしている」というが「身だしなみを整える」目的で化粧をしてきている生徒と同じだから学校の校則で化粧がダメなら先生方もせずにくるべき。それか校則をかえるべき。

### 高知県教育委員会の見解です

- 校則については、学校や地域の状況、社会の変化等を踏まえつつ、各学校において絶えず見直しをしていくことが重要です。また、その見直しの過程に生徒の皆さんが参画することは、校則の意義を理解し、自ら校則を守ろうとする態度につながっていくなど、とても意義があることです。身近な課題について、生徒の皆さんが「声」をあげ、「他者との対話や議論を通じて考える機会は大変重要である」と生徒指導提要（生徒指導に関する学校・教職員の基本書）に記されています。県教育委員会としては、こうした生徒の皆さんの「声」を生かした校則の見直しの取組が、各学校において積極的に進められることを目指し、次期教育大綱にも位置付けて取組を推進していきます。

※上記の「声」の分類は、必ずしもご回答いただいた際に選んでいた項目とは一致していません。

例えば、「高知県の教育」というテーマを選ばれたうえで、校則についての「声」をいただいていた場合には、「校則に関すること」としてご紹介しています。

※掲載した「声」の一部を抜粋して掲載している場合があります。

# いただいた「声」の一部ご紹介

## 2 施設や設備に関すること



- 地震対策ができていないか不安です。
- Wi-Fiの接続を良くしてほしい。
- プールや校舎をきれいにしてほしい。
- 学校のグラウンドを芝生にしてほしい。
- トイレをきれいにしてほしい。
- 洋式トイレをもう少し増やしていただくか、各トイレに一つは設置して欲しい。
- クーラーは7月からというのは遅すぎると思いました。地球温暖化も進んでいて気温がどんどん上がっているのに未だに日付で決めるのはしんどいと思う。せめて気温で決めてほしいです。

### 高知県教育委員会の見解です

■地震対応については、県立学校の全ての校舎、体育館の耐震対策は完了していますので、安心してください。その他の施設・環境については、老朽化の進行状況や衛生環境などを総合的に判断して、必要に応じて改修等を実施しています。校舎については、今後も長く使い続けるための「長寿命化改修工事」を古い建物から順に実施していきます。また、Wi-Fiの接続について、ストレスのない環境を目指して、機器を更新するなど対応を進めていきます。

## 3 通学に関すること



- 交通機関が少ない。
- 通学手段が自転車か親の送迎しかない。
- 家が遠い人用に学校バスを用意してほしい。通学に時間がかかるのでそのぶん勉強する時間が減ってしまう。
- 道が悪い。
- 道が狭いので車とすれ違うとき危ない時がある。
- 行き道に電灯やカーブミラーが少ないことに悩んでいる。

### 高知県教育委員会の見解です

■現在、教育委員会・警察・道路管理者の三者で連携して、通学路の安全対策を進めています。道路環境はすぐに改善されませんが、粘り強く進めていきます。皆さんも安全な通学を心がけてください。

高校生の皆さんが、充実した高校生活を送るためには、何よりも安心できる環境を整備することが大切だと考えます。そのため、県教育委員会としましては、必要に応じて各関係機関及び保護者等と連携し、生徒の皆さんの安全確保に努めていきます。

※上記の「声」の分類は、必ずしもご回答いただいた際に選んでいただいた項目とは一致していません。  
 例えば、「高知県の教育」というテーマを選ばれたうえで、校則についての「声」をいただいていた場合には、「校則に関すること」としてご紹介しています。  
 ※掲載した「声」の一部を抜粋して掲載している場合があります。

# いただいた「声」の一部ご紹介

## 4 授業に関すること



- 一人ひとりにわかりやすく教えてほしい。
- 成績や課題への取り組み方でクラス分けをしてほしいです。
- 最近はタブレット活用なども増えてきて前よりも学習しやすくなっていて良いと思う。
- 先生はわかりやすい授業をしてくれたり、グループ学習もあって楽しく活動できていると思う。今の授業に特に不安はない。
- 授業がつまらない。
- 課外活動の増加を提案します。課外活動によって学校の外に出ることにより自然や身の回りの環境によって得られるものがあると思います。また学校の外に出ることで生徒たちに集団行動のマナーや基本的な生活のルールも身につくと思います。
- 自分の将来の夢に関わる科目などがあると助かります。
- 日本の現状をどう打開するかを教育に入れてほしいです。
- 社会に出た時に必要なことをもっと教えてもらいたいです。
- 英語の授業を、海外で日常的に使うものや発音など、実践的なものを教えてほしい。
- 私は環境問題（SDG s）の学習をしたらいいと思います。今の地球の現状をよく知らない、何となくリサイクル、ゴミ拾いをするなど、何のためにしているのか把握出来ていない人がいるからです。
- 総合探究の時間を設けてくれるのがとても助かる。自分の興味のあることを調べられるので、進学や就職の役に立つ。

### 高知県教育委員会の見解です

■ これからの社会では、知識や技能を身に付けているだけではなく、それらを状況に応じてどう使うのか、自分の人生や世界をよりよくするためにどうしていくのかを考える力が求められています。特に生徒の皆さんが成人年齢に達する高等学校では、社会の形成に自分事としてかかわる力を育てていくことが重要だと考えています。そのため、県教育委員会では、各県立学校において、「生徒が目標を共有し見通しをもって取り組むこと」、「生徒が学んだ知識や技能を使って自身の考えを表現すること」、「生徒が学んだ内容や自身の学び方を振り返ること」を大切にしたい授業づくりが行われるよう取り組んでいきます。

また、1人1台タブレット端末は、「声」をいただいた通り、一人一人にとって最適な学習だけでなく、話し合いや共同制作などの協働的な学びの可能性を広げ、探究学習の充実にも効果的なツールです。生徒の皆さんが授業等で活用できるようさらに取組を進めていきます。

特別支援学校では、生徒の皆さんが自立と社会参加をしていくことを目指し、ICT機器を活用した授業や、一人一人が「分かる」「できる」授業づくりに取り組んでいます。また、社会とつながるために、早期からのキャリア教育に取り組んでいます。今後も「声」を踏まえ、このような取組をさらに進めていきます。

いずれも、次期教育大綱にも位置付けて取組を推進していきます。

※上記の「声」の分類は、必ずしもご回答いただいた際に選んでいた項目とは一致していません。

例えば、「高知県の教育」というテーマを選ばれたうえで、校則についての「声」をいただいていた場合には、「校則に関すること」としてご紹介しています。

※掲載した「声」の一部を抜粋して掲載している場合があります。

# いただいた「声」の一部ご紹介

## 5 学校の部活動に関すること



- 今はゆるい感じだけど強豪校みたいな部活をしたい。
- 部活動の設備をよくしてほしい。
- 部活動に集中できる環境を作って欲しい。
- 部活動はみんなが楽しくしながら真面目にしているのでいいと思う。
- 先生が忙しくて全然部活に来ていない部が多いので、地域移行などを早くして欲しい。
- 部活の強制参加の緩和。
- 部活時間が少し長い。

### 高知県教育委員会の見解です

■ 県教育委員会として、高知県運動（文化）部活動ガイドラインに基づき、部活動に加入している公立中学校・県立学校の生徒が、適切な休養をとりながら活動できるように取り組んでいます。また、持続可能なスポーツ・文化芸術活動が確保できるよう、まずは公立中学校を対象に地域連携や地域移行など新しい部活動の在り方を検討し、環境整備に取り組んでいます。

引き続き取組を進めていくとともに、次期教育大綱に位置付けて、さらに推進していきます。

## 6 学校外での学習する機会や場所のこと



- 学校外で学べる施設があるため、地域交流や地域学習なども兼ねてその施設での学習の機会を設けてみたらどうかと思う。
- 自習ができる施設を増やしてほしい。
- 地元で勉強できる場所がないことが悩みです。
- コロナウイルスがだいぶ落ち着いてきたので、学校外での活動の場（校外学習や現場実習など）の機会を増やしていただけただけなら嬉しいです。
- 学校外の活動でもう少し他の高校と活動できるようにしてほしい。
- 違う学科や同じ学科のある県内の高校の人との交流会。

### 高知県教育委員会の見解です

■ 別の高校の生徒と交流・協働し、多様な意見や価値観に触れ、自身の考えを深めていくことは、たいへん意義が大きいことです。県教育委員会としましては、各校の特色ある活動の成果発表など、お互いに交流できる場面を設定することについて検討していきます。また、特別支援学校においては、職場体験学習や現場実習等、学校外での様々な学習の機会がさらに充実するよう取り組んでいきます。

県立図書館が運営する高知県電子図書館では、デジタル化に対応し、来館しなくてもタブレット等で利用が可能な電子書籍の充実に取り組んでいます。また、ポータルサイト「まなび場search」では、県民一人一人のニーズや希望に応じた学びに関する情報を提供しています。今後もこれらのサービスの充実・周知により学びの機会を増やしていきます。

※上記の「声」の分類は、必ずしもご回答いただいた際に選んでいただいた項目とは一致していません。

例えば、「高知県の教育」というテーマを選ばれたうえで、校則についての「声」をいただいていた場合には、「校則に関すること」としてご紹介しています。

※掲載した「声」の一部を抜粋して掲載している場合があります。



## その他にもこのようなご意見をいただきました。一部ご紹介します。

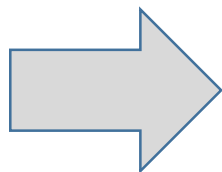
- 年に一回でいいので人としてのマナーやルールを守ることの大切さを教える場を設けてほしいです。
- 高知県の教員採用試験の募集人数を増やしてほしい。
- 私の学校では、留学生が来てくれてその国についてたくさんの方が学べたので、他の学校でも留学生を受け入れたり、ALTの数を増やしたりとグローバルな視点を持って行ってほしい。
- 参考にさせていただいたPDF（※注 添付◆参考）にもあったように、変動性の高い時代だからこそ、自分自身が広い視野を持って、様々な価値観を受け入れつつも、自分の意見をしっかり持つことが重要だと思いました。そのため海外の視野を学ぶために、より留学のサポートをしてほしいです。留学を短期ではなく長期・卒業留学をしたい。
- 全ての学校で、男女共に制服の選択が出来るようになって欲しいです。例えば、男性が女性の制服を選択できるようになって欲しいです。例えば、男性が女性の制服を選択できたり、女性が男性の制服を選択できたりするようにして欲しいです。
- 進路の情報で国公立大学の情報が少なく、あるとしても県内の情報がほとんどなので、県外の大学の情報も生徒のためを思って追加していただきたいです。
- 学校行事を増やしてほしい。
- 地域の人と関わりをもつ機会をふやしてほしいです。
- とても充実している。
- 休みを増やしてほしい。
- 他学年との交流機会を増やしてほしい。校内イベントをもっとしたい。職場体験をしてみたい。（コロナでできなかったから）
- もう少し検定についての本を置いてほしい。
- どの先生も熱心に授業をしてくれていて私たち生徒のことをよく考えてくれていると感じます。
- 今現在日本ではいじめの問題が多発しているので先生はよく生徒のことを見てほしい。
- 先生は自分の価値観を押し付けず理由を説明しながら選択肢の提示をして、生徒に考えさせ選択させることが重要。
- 生徒からの要望に納得が出来ない理由（風紀が乱れるなど）を使うのはやめて欲しい。変える気もないし、相手にされていない感じがする。
- 知ってて当たり前という考え方はわからないことがそのままになってしまい教育に良くないと思います。
- 高知県は他県と比べて学力が下がっていると聞いたので、勉強意識が高まるような声かけをしてほしい。
- 他の県と比べたときに、教育活動が少なくならないようにしてほしい。
- 一人ひとりが学習に対する意欲を高められるといいと思います。
- LGBTについて学ぶ場が欲しい。
- 将来羽ばたく子供のために、本当に今の教育は必要な教育なのかを見極めながら本当に必要な教育をしてほしい。
- 自国に誇りを持たば、日本のために何をすべきなのか、そのための行動ができるようになり自分で社会を切り開いていけるようになると思う。

※頂戴した「声」の一部を抜粋して掲載している場合があります。

## ◆参考

「声」募集の際に、参考資料として高知県教育委員会ホームページに掲載した「今後の社会」等についての資料





## 学校

今後、学校を卒業して  
社会に出た後に  
**必要な力**を身につける

「必要な力」  
とは何か

## 社会

社会・世界は  
どのような状況？

今、そしてこれからの社会は、

一言で言うと・・・

「当たり前」だと思っていることが  
当たり前ではないかもしれない世の中



現代・将来は、変化が激しく、予測不可能なことが次々と起こる時代。

このことを **VUCA時代** と言うことがあります。

**V**olatility

**変動性**

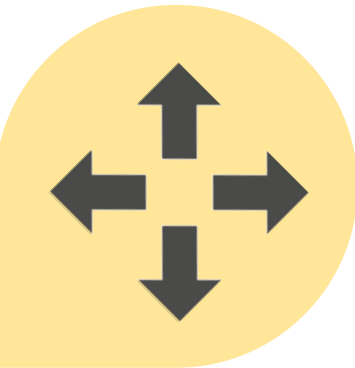
変化が急速で、  
激しい



**U**ncertainty

**不確実性**

将来を予測する  
ことが難しい



様々な要素が  
複雑に絡み合う

**複雑性**



色々な  
考え方や視点等があり  
単純な正解がない

**曖昧性**

**C**omplexity

**A**mbiguity

※ 「VUCA」の意味は、様々な捉え方があります。この資料における分類・説明は一つの例です。



# Volatility 変動性

変化が急速で、激しい

技術革新等によって、「最新」「現実には難しい」と思っていたものも、気づいたらすぐに「当たり前」になるかもしれない。

最新のもの！  
私しか持ってない！

そんなこと、  
実際にはできない！  
フィクションの世界！



数年もすると・・・



どんな最新の技術も、  
この繰り返し。  
そして、そのスピードも  
どんどん早くなっている



普通ですね。はい。  
当たり前というか・・・

みんな、  
仕事や生活で結構  
使ってますね。



AIが問題の答えを出したり、小説や絵を描いたりする。



ドローンが荷物を運んだり、車が空を飛ぶ。



仮想（バーチャル）空間でもう一人の「自分」が活動する。



今は「最新」のもの  
数年後はどうなる・・・？



# Uncertainty 不確実性

将来を予測することが難しい

これまでに全く予測できなかったことが起こってしまう。  
今の「当たり前」は将来は「当たり前」でないかもしれない。



新型コロナウイルス感染症  
等の感染症



人口の変動



気候変動・自然災害



将来



国際情勢

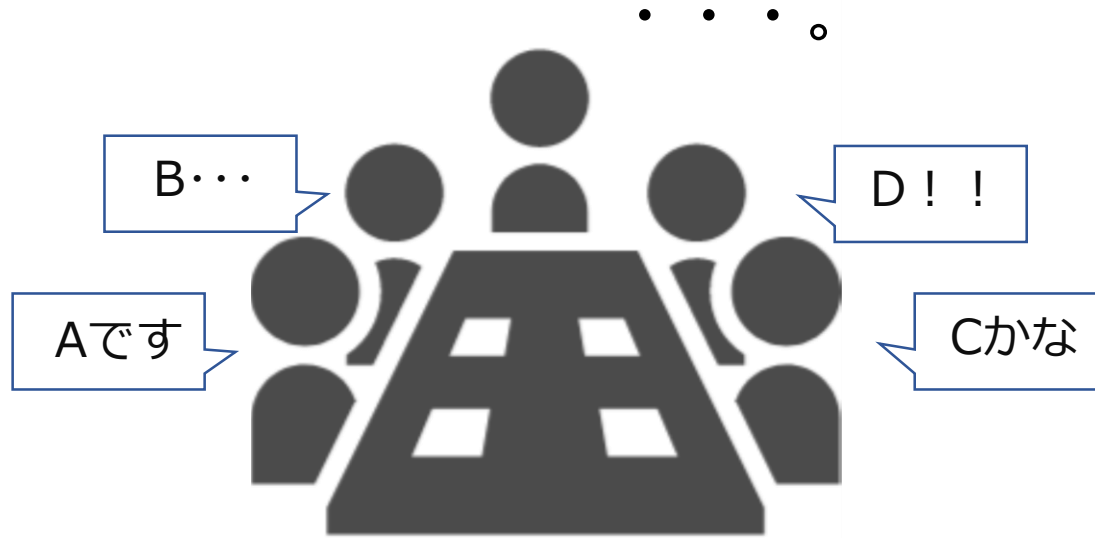
新型コロナウイルス感染症などの感染症の発生、少子高齢化などの人口変動、  
気候変動や自然災害等の発生、国際情勢の変化・・・  
様々な事柄が、色々な要因によって予測が難しくなっている。



# Complexity 複雑性

様々な要素が複雑に絡み合う

様々な事柄・意見が複雑に絡み合い、解決策まで至るのが困難。「当たり前」は、人や場所等によって違うかもしれない。



例えば、グローバル化・ボーダーレス化等によって、様々な立場の方々と交流するようになる。

その結果、様々な習慣、文化、ルール等が関わり合い、一つの解決策まで到達するのが難しくなっている。





# Ambiguity 曖昧性

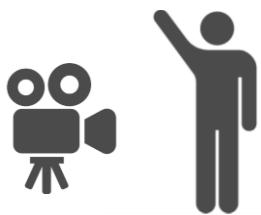
色々な考え方や視点等があり、  
単純な正解がない

様々な考え方・視点・立場があり、固定的ではなく流動的で、  
多様。一つの決まった「当たり前」はないかもしれない。

例えば、



ある時は  
情報を入力する人



ある時は  
情報を配信する人



様々な生き方、生活の仕方、仕事の仕方

様々な技術の発展や、SNSの普及による情報の展開等によって、

今まで一部の人だけが実施できてたことを  
多くの人の実施することが可能となる。

色々な生き方、生活・仕事の仕方を知り、  
それを実現することができる。

一つの正解がない、新しかったり、多種多様な物事・価値観が存在する世の中。

日本・世界の今、そして今後は、  
このような変化が大きく、予測不可能なことが  
次々と起こる時代。

「当たり前」が「当たり前ではない」  
かもしれない社会。

今、そして今後、  
社会は例えば、このような状況。

そんな社会に出て行く、  
私たちが今過ごす

# 学校

はどのような場所  
あるべきなのだろう・・・。



# 学校

何を学ぶべき？

先生はどうあるべき？

何故このルール？

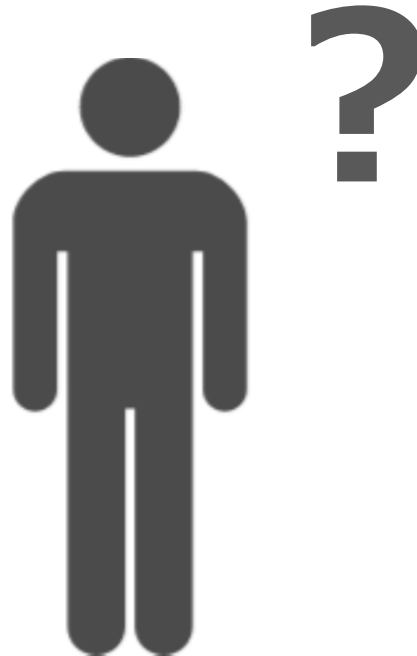
何を大事にしたい？

何が楽しい？  
何が変？

私たちはどうすべき？

どうしたらよくなる？

何をやめた方がいい？



私たち、高知県、  
そして日本の未来を考えて、  
理想的な学校の姿とは何か。

ちなみに・・・。

高知県には、  
高知県の教育・学校の  
必要な方向性や政策等を定めている

**「教育等の振興に関する施策の大綱」**  
**「高知県教育振興基本計画」**

という方針・計画があります。





基本理念（目指すべき人間像）の実現に向けた施策の体系図

第3期高知県教育振興基本計画は、VI-2、VI-3、VI-4、VI-5を除く

基本理念

子どもの成長

6つの基本方針

6つの基本方針の実現に向けた施策群

学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち

郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材

知の分野

学びに向かう力  
思考力・判断力・表現力  
知識・技能

徳の分野

他者と協働する力  
自己肯定感・規範意識

体の分野

基本的な生活習慣  
健やかな体力

知・徳・体の調和のとれた生きる力

I チーム学校の推進

II 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実

III デジタル社会に向けた教育の推進

IV 地域との連携・協働

V 就学前教育の充実

VI 生涯学び続ける環境づくりと安全・安心な教育基盤の確保

I-1 チーム学校の基盤となる組織力の強化

I-2 チーム学校の推進による教育の質の向上

II-1 多様な課題を抱える子どもへの支援の充実

II-2 特別支援教育の充実

III-1 デジタル技術の活用による学びの個別最適化

III-2 創造性を育む教育の充実

IV-1 中山間地域をはじめとする各地域の教育の振興

IV-2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

V-1 就学前教育・保育の質の向上

V-2 親育ち支援の充実

VI-1 生涯にわたって学び地域社会に生かす環境づくり

VI-2 私立学校の振興 VI-3 大学の魅力向上

VI-4 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

VI-5 スポーツの振興 VI-6 児童生徒等の安全・安心の確保

6つの基本方針に関わる横断的な取組

1 不登校への総合的な対応

2 学校における働き方改革の推進

# この方針・計画は、 今年度大きく改訂する予定です。

↓ 今の方針・計画 →



第2期教育等の振興に関する施策の大綱（第3次改訂版）  
第3期高知県教育振興基本計画（第3次改訂版）  
【概要版】

令和5年3月  
高知県・高知県教育委員会



第3期  
高知県  
教育振興基本計画

第3次改訂版

令和5年3月  
高知県教育委員会



皆さんの学校についてのご意見・ご提案も踏まえ、高知県の教育の方針や計画の内容を検討していきます。



# 参考文献

- 「第3期高知県教育振興基本計画」 (高知県HP)

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/2020032700035.html>



- 高知県の教育に関する調査結果等のデータ (高知県HP)

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/2014050800242.html>



- 令和3年度文部科学白書 (文部科学省HP)

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/2014050800242.html>



- こどもまんなか こども家庭庁 (こども家庭庁HP)

<https://www.cfa.go.jp/top/>

